2024年7月31日

各　位

会　社　名　　コスモエネルギーホールディングス株式会社
（コード：5021　東証プライム）
代 表 者 名　　代　表　取　締　役　社　長　山田 茂
問 合 せ 先　　コーポレートコミュニケーション部長　笈川 政浩
電 話 番 号　　03-3798-3101

グリーンファイナンス・フレームワーク策定
に関するお知らせ

コスモエネルギーホールディングス株式会社（以下「当社」）は、このたび、脱炭素社会の実現に向けた取り組みをさらに推進するため、グリーンファイナンス・フレームワーク※1（以下「本フレームワーク」）を策定し、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）よりセカンドオピニオン※2を取得しましたので、お知らせします。

記

1.　本フレームワーク策定の背景および目的

当社グループは、「私たちは、地球と人間と社会の調和と共生を図り、無限に広がる未来に向けての持続的発展をめざします。」というグループ理念のもと、「調和と共生」「未来価値の創造」からなる「サステナビリティの基本的な考え方」に則り、グループ経営においてサステナビリティを推進しています。

環境面では、2050年にScope3を含めたカーボンネットゼロを目指し、2030年にCO2排出量▲200万トン(2013年度比。Scope1+2▲30万トン、削減貢献▲170万トン)を目標とするVision 2030を策定しました。Vision 2030では、「グリーン電力サプライチェーン強化」や、「次世代エネルギー拡大」、さらに「石油事業の競争力強化・低炭素化」など、脱炭素社会への貢献に向けた取り組みを進めています。

このたび、グループ一体でカーボンネットゼロ実現を推進するため、「グリーン電力サプライチェーン強化」における再生可能エネルギー・EV・蓄電、「次世代エネルギー拡大」におけるSAF・水素及び次世代エネルギー等の研究開発・設備投資などに要する資金調達をするため本フレームワークを策定しました。

当社グループは、今後も脱炭素への社会的な要請の高まりを十分に認識したうえで、急速なエネルギー転換による影響も考慮し、低炭素、低コストのエネルギーを安定供給するという使命を果たしてまいります。

2.　適合性に関する外部評価（セカンドオピニオン）の取得

本フレームワークは、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）より、国際資本市場協会（ICMA）が定めるグリーンボンド原則（GBP）2021、環境省のグリーンボンドガイドライン（2022年版）などで定められた４つの要素（1.調達資金の使途、2.プロジェクトの評価及び選定プロセス、3.調達資金の管理、4.レポーティング）に適合する旨のセカンドオピニオンを取得しています。

3.　本フレームワークの概要

当社グループは本フレームワークの策定により、グリーンファイナンス（債券およびローン）での資金調達が可能となります。本フレームワークによって調達した資金を活用し、2050年にはScope3を含めたカーボンネットゼロを目指してまいります。

1．調達資金の使途 ※当社グループ各社の事業を含む	○グリーン電力サプライチェーン強化 ・再生可能エネルギー －風力発電 －太陽光発電 ・EV ・蓄電 ○次世代エネルギー/原料/CCS・CCUS ・SAF ・水素及び次世代エネルギー －水素サプライチェーン －合成燃料 －バイオディーゼル －バイオエンジンオイル ・ケミカルリサイクル ・CCU/CCUS
2．第三者評価機関	株式会社格付投資情報センター（R&I）
3．ストラクチャリング・エージェント※3	みずほ証券株式会社・株式会社みずほ銀行

※1　コスモエネルギーホールディングス　グリーンファイナンス・フレームワーク[リンク]
※2　セカンドオピニオン[リンク]
※3　グリーンファイナンス・フレームワークの策定および外部評価（セカンドオピニオン）の取得の助言などを通じて、グリーンボンドの発行を含むサステナブルファイナンスの実行支援を行う者

以上

＜参考＞
■コスモエネルギーグループのサステナビリティについて
https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/sustainability.html
■コスモエネルギーホールディングスのVision2030について
https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/company/vision2030.html